


## ◆コロナ関係

マスク着用義務が緩和されていますが、新聞やテレビの報道によると、マスクを外すのに抵抗がある人が結構いるようです。すでにマスクは下着感覚になっており、恥ずかさを感じるのが理由です。

マスクをかけていると、小顔にみえる、化粧不要、髭剃り不要、ほうれい線が見えないといった利点があり、マスクを外した素顔をみられ、こんな顔だったんだと思われるのに抵抗があるようです。



### マスクを外しても良い例

屋外	●周囲と2m以上の距離がある ●距離は不十分だが、会話がほとんどない 例 ランニングや鬼ごっこなどの外遊び、徒歩での通勤
屋内	●2m以上の距離があり、会話がほとんどない 例 人が少ない図書館や美術館
未就学児	●着用を一律には求めない

## ◆病院・慈恵会グループからのお知らせ ・老健施設「いきいきの郷」

ネパールから男性介護実習生が2人着任しました。日本語はたどたどしいですが一生懸命仕事に取り組む、早く仕事に慣れようとする姿は、他の職員の刺激になっているようです。今後3人の女性実習生が来る予定です。

## ◆第35回第一生命サラリーマン川柳

- 第1位 8時だよ!! 昔は集合 今閉店
- 第2位 ウィスルも 上司の指示も 変異する
- 第3位 にこやかに マスクの下で うっせいわ!
- 第4位 巣ごもりで MからLに 服反応
- 第5位 マスク顔 確信持てず 見つめあう

## ◆今週の院長予定

5月30日	月	8:00運営会議、14:00エリーネス取締役会、15:00来客			
5月31日	火	9:00外来、14:00手術			
6月1日	水	松江 11:10看護学科1年生講義、13:30運営会議			
6月2日	木	9:00~11:00来客			
6月3日	金	9:00神戸大学、10:30外来、14:00神戸市医師会、16:00コロナ会議			
6月4日	土	9:45新須磨クリニック			
6月5日	日	11:30松江総合医療専門学校オープンキャンパスでリモート挨拶			

## ◆私の本棚

・孤独の哲学 「生きる勇氣」を持つために  
岸見一郎 中公新書ラクレ

著者はアドラー心理学の第一人者の哲学者。孤独死が新聞記事を賑わせ、孤独が悪いような風潮があります。人から離れていると孤独を感じるというのが普通の考えですが、人の中にいるときに孤独を感じる人もいます。

コロナ禍で人と会えず孤独になることが問題になっています。世間的な条件に照らして会うに値しないような人もたくさんいます。本当の友とは相手に何の条件も付けずに何があっても味方になる人で、そのような人とつながりがあれば孤独感を感じることは少ないといえます。

他者を信じ、人から良く思われなかなどを気にせず生きることで孤独感は解消されるのです。



友情も雑炊も  
温めかえしてはうまくない  
堀口大学

詩人堀口大学の言葉です。あることで敬愛する友人と絶交をしてしまいます。その仲を取り持とうとする人が現れますが、この言葉を述べて友情を戻すことはなかったそうです。

友情とはお互いが意識し努力して、大事にすることが必要だということです。

神戸で一番  
親切で  
丁寧で  
優しい医療を

